

解 答 速 報

近畿大学医学部(後期) 英語

2024年2月24日実施

1	2	3	4	5	6	7	8
エ	ウ	エ	ア	エ	ウ	エ	イ
9	10	11	12	13	14	15	
ウ	ア	ア	イ	エ	エ	ア	
16	17	18	19	20	21	22	23
エ	エ	イ	ウ	オ	ア	イ	ウ
24	25	26	27	28	29	30	31
エ	オ	イ	ア	ウ	イ	イ	オ
32	33	34	35	36	37	38	39
ウ	オ	イ	ア	ア	オ	ウ	オ

A-C 文法・語法・語彙

(A) 「次の文を最も適した語句を用いて完成させなさい」

(1) エ Something is the matter with ~ 「～が故障している, 人の様子がおかしい」

Something is the matter with my radio.

「私のラジオは故障している」

(2) ウ refuse to do ~ 「～することを拒否する」

Many people refused to take surveys on that topic.

「その話題について調査を受けることを拒否する人が多かった」

refuse は目的語に to do を用いる。

(3) エ keep up with ~ 「～に遅れずについていく」

Our company has no capacity to supply sufficient quantities of product to keep up with the rapidly increasing demand.

「当社には, 急増する需要についていくことのできる製品量を供給する能力が全くない」

(4) ア leave no stone unturned 「あらゆる手段を講じる」

A: "We need to explore all avenues to find a solution."

B: "I totally agree. We must leave no stone unturned."

A 「解決策を見つけるために私たちはすべての手段を模索する必要がある」

B 「まったく同感だ。私たちはありとあらゆる手を尽くさねばならない」

(B) 「下線部を引いた語句と最も意味の近い答えを選びなさい」

(5) エ predisposed to do ~ 「～しやすい性質がある」

My high school teacher had a natural gift for inspiring curiosity, inclined to guide students on a path of self-discovery.

「私の高校時代の恩師は、好奇心を刺激する才能があり、気性として生徒を自己発見の道へと導く傾向があった」

ア prepared to do ~ 「～する覚悟ができています」 イ obligated to do ~ 「～する義務がある」

ウ accustomed to doing ~ 「～するのに慣れている」

(6) ウ inaccurate 「不明確である」

His proposal ignored the latest data and was somewhat wide of the mark.

「彼の提案は最新のデータを無視したもので、やや的外れだった」

ア global 「世界的な」 イ attractive 「魅力的である」 エ far-reaching 「遠大である」

(C) 「以下の各段落を最も適切な語句を補って完成させなさい」

(7) エ “~, Tara Ghormley got infected with the SARS-CoV-2 virus.”

「~, タラ・ゴームリーは SARS-CoV-2 ウィルスに感染した」

<get infected with ~> 「～に感染する」

(8) イ “Her early infection and ongoing symptoms make her one of the first people with “long COVID,” a condition where symptoms persist for at least three months after the infection and can last for years.”

「早い時期に感染し、症状が継続している様子からすると、彼女はコロナ後遺症に初めて苦しんだ一人ということになるが、その場合、症状が感染後少なくとも3か月続き、数年間続くこともある」

ア permit 「～を許す」 ウ persuade 「～を説得する」 エ persecute 「～を迫害する」

(9) ウ “Vaccination appears to reduce the danger but does not entirely prevent long COVID.”

「ワクチン接種はその危険を減らすと思われるが、コロナ後遺症を完全に予防するわけではない」

ア affirm 「～を肯定する」 イ refuse 「～を拒否する」 エ facilitate 「～を容易にする」

(10) ア “Neighboring countries say it poses an environmental threat ~.”

「近隣諸国が言うには、それ(放射性物質を含んだ処理水)は環境に対する脅威を引き起こす」

イ pause(s) 「～を中断する」 ウ protest(s) 「～に抗議する」 エ postpone(s) 「～を延期する」

(11) ア “~ that will last generations and may affect ecosystems.”

「環境に対する脅威は、数世代にわたって続き、生態系に悪影響を及ぼすかもしれない」

イ begin 「始まる」 ウ define 「～と定義する」 エ preserve 「～を保存する」

(12) イ “That storage space is about to run out, ~”

「そこに貯蔵できる空間はなくなりつつあり、~」

ア run for ~ 「～に立候補する」 ウ run away 「逃走する」 エ run around 「回避する」

(13) エ “~, some of Japan’s neighbors are criticizing it as unilateral and dangerous.”

「日本の近隣諸国の中には、それ (IAEA 国際原子力機関の安全評価) を一方的で危険なものであるとして批判しているところもある」

ア adopt(ing) 「～を採用する」 イ forgiv(ing) 「～を許す」 ウ support(ing) 「～を支持している」

- (14) エ “One spring day, I rode across the George Washington Bridge into New Jersey.”
 「ある春の日に、私は自転車に乗り、ジョージ・ワシントン橋を通り抜けてニュージャージーに行った」
 ア read 「～を読む」 イ ride 「(～に) 乗る」 ウ road 「道路」
 <ride across ~> 「乗り物にのって～を渡る」 rode は ride の過去形。
- (15) ア “Cyclists sped past me, ~”
 「サイクリングする人たちがスピードを上げて私を追い越し, ~」
 イ spent (spend の過去形) 「～を過ごした」 ウ spare(d) 「～を惜しんだ」 エ spot(ted) 「(場所を) 見つけた」
 sped は speed 「速度を上げる」 の過去形。

D, E 長文

- (D) 「本文中の下線を引いた単語を見つけ、代わりに用いることができるものとして最も適当なものを選びなさい」
- (16) 「第1段落(P1)の repel に最も近い意味の単語はどの選択肢か」
 正解はエ。 ward off は「撃退する」という意味。下線部を含む1文の意味は「新しい論文によると、これら利口なカラス類は、防鳥スパイク、つまり鳥たちを撃退して屋根、戸枠、その他の人工物をねぐらにさせないために用いられている針状の長い棒を奪い取り、巣を作る材料としてそれらを用い始めた」である。
- (17) 「第2段落(P2)の edge に最も近い意味の単語はどの選択肢か」
 正解はエ。 advantage は「強み、優位性」という意味。下線部を含む1文の意味は「現在、そうした能力のリストには、金属製のスパイクを再利用する能力も含まれるが、それはひょっとすると鳥たちに進化上の優位性をもたらすことで、その鳥たちに利益になる一風変わった戦略だ」である。
- (18) 「第3段落(P3)の practice に最も近い意味の単語はどの選択肢か」
 正解はイ。 activity は「行動」という意味。下線部を含む1文の意味は「しかし裏を返せば、その行動が鳥たちに害をもたらすかもしれない状況もある」である。
- (E) 「次の各設問に対する解答として最も適当なものを選びなさい」
- (19) 「カラスとカササギによる人工物の再利用に関して本文で述べられている研究の目的を最もよく表している文はどれか」
 正解はウ「かつて人間だけに限られるとみなされてきたプロセスを調査すること」。第2段落第3文が根拠となる。その1文の意味は「そして11月の認知科学者たちの報告によると、かつて人間に特有だと考えられてきたパターン形成概念をカラスは理解できる」である。このことが研究目的だと言及は、本文中にはないものの、研究目的と報告内容は大いに関連性がある。また他の選択肢の内容はいずれも本文では述べられていない。
- (20) 「次のうち、本文中に提供されている情報が最もよく裏付けている文はどれか」
 正解はオ「カラスやカササギは人工物を再利用する特有の技術を持っている」。第1段落最終文が根拠となる。その1文の意味は「新しい論文によると、これら利口なカラス類は、防鳥スパイク、つまり鳥たちを撃退して屋根、戸枠、その他の人工物をねぐらにさせないために用いられている針状の長い棒を奪い取り、巣を作る材料としてそれらを用い始めた」である。
- (21) 「本文によると、これまで人間に限られてきたどんな特徴をカラスやカササギが共有していると思われるか」
 正解はウ「パターン認識」。第2段落第3文が根拠となる。その1文の意味は、「そして11月の認知科学者たちの報告によると、かつて人間に特有だと考えられてきたパターン形成概念を

カラスは理解できる」である。

- (22) 「“corvids” という単語は何を表しているか」

正解はイ「カラスとカササギ」。corvids を含む第1段落第4文冒頭に “These clever corvids” とあるが、これは前文中の “some crows and magpies” を指すと考えられる。なお corvid は「カラス科の鳥」を意味するが、カラス同様、カササギもカラス科の鳥である。

- (23) 「本文によると、巣を作る目的のために人工物を用いる際、カラスとカササギはどのような妥協をしているか」

正解はウ「捕食者を引きつけてしまう可能性がある」。第3段落第4文が根拠となる。その1文の意味は「また、特に目を引く派手な色をしたゴミのような他の種類のがらくたを用いることで、意図せず捕食者の注意を引いてしまいかねない」である。

F, G 長文

- (F) 「本文中の下線を引いた単語を見つけ、代わりに用いることができるものとして最も適当なものを選びなさい」

- (24) 「第1段落の carried out に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はエ。conduct は「行う、実施する」という意味。下線部を含む1文のおよその意味は「卒業後、彼は〜で細菌学の研究を行った」である。

- (25) 「第2段落の susceptible に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はオ。vulnerable は「脆弱な、感染しやすい」という意味。下線部を含む1文のおよその意味は「翌年、彼とフォン・ベーリングは、細菌毒素に曝露された動物の血液から産生された抗毒素を含む血清を、感受性のある動物に注射することによって、破傷風に対する免疫を獲得することができる、と証明した」である。

- (26) 「第2段落の approach に最も近い意味の単語はどの選択肢か」

正解はイ。means は「手段、方法」という意味。下線部を含む1文の意味は「その後すぐ、彼らはジフテリアに対する治療法に、血清療法と呼ばれるこの方法を応用することに成功した」である。

- (G) 「次の各設問に対する解答として最も適当なものを選びなさい」

- (27) 「本文によれば、誰の研究室で、ドイツで北里が自身の細菌学の研究を行ったか」

正解はア。第2段落第1文が根拠となる。その1文の意味は、「1885年に北里はベルリンに移り、ドイツの細菌学者のロベルト・コッホの研究室に加わった」である。その後、第2段落全体で、北里が破傷風菌の培養に成功し、それを応用して血清療法を確立した、という細菌学の研究に関わることが記されている。イの「エミール・フォン・ベーリング」についてだが、第2段落第2文より、彼はコッホの研究室で北里とともに破傷風やジフテリアについて研究を行っていたことがわかるので間違いである。

- (28) 「本文によれば、天皇と北里の関係は何か」

正解はウ。第4段落最終文が根拠となる。その1文の意味は、「1924年に、天皇は彼(=北里)に男爵の称号を与えた」である。これに合致するのは、ウの「天皇は彼に貴族の称号を与えた」である。第4段落最終文中の invest は「(人に権限などを)与える」という意味であり、エで用いられている investment 「投資」とは意味が異なるのに注意したい。

- (29) 「本文によれば、どのようにして北里はジフテリアに対する治療法を確立したか」

正解はイ。第2段落第3文が根拠となる。その1文の意味は「1889年に、北里は初めてこの細菌の純粋培養に成功し、その翌年、彼とフォン・ベーリングは、細菌毒素に曝露された動物の血液から産生された抗毒素を含む血清を、感受性のある動物に注射することによって、破傷風に対する免疫を獲得することができる、と証明した」である。アレクサンドル・イェルサンについては第3段落に記されており、ペスト菌を発見した人物であるため、アは間違いである。また、血清療法への応用のプロセスの記載が異なるため、ウ、エ、オは間違いである。

- (30) 「本文によれば、最もよく知られている北里の科学的業績は何か」
 正解はイ。本文全体のテーマであり、第1段落第1文が根拠となる。その1文のおよその意味は「北里柴三郎は日本人医師かつ細菌学者であり、破傷風やジフテリアの予防法を見つけ、また、腺ペストの原因となる病原体を発見するのに貢献した」である。エについてだが、第4段落第2文より、北里が慶應義塾大学医学部長に就任したのは1917年のことであるので間違いである。また、イを差し置いて「もっともよく知られている功績」とは言い難い。
- (31) 「香港での北里の経験を最も正確に描写しているのは次の文のうちどれか」
 正解はオ。第3段落最終文が根拠となる。その1文の意味は「北里はその疫病（腺ペスト）の原因細菌として *P. pestis*（香港で伝染している間に北里とは別にペスト菌を見つけた、フランスの細菌学者のアレクサンドル・イェルサンにちなんで改名されて、今は *Y. pestis* と呼ばれている）を特定した」である。アとエは本文に記載がない。また、北里は腺ペストについて調査しに行ったため、イも間違いである。先に記した通り、*Y. pestis* の命名に関して、北里は関係がないため、ウも間違いである。

H 長文

- (32) 「第1段落(P1)によると、2022年5月にカリフォルニア当局によりハンティントンビーチの海水淡水化プラントの計画を棄却した理由は何か」
- ア 「当局は、海水淡水化は実用的な解決策であると信じていた」
 イ 「当局によってプラントの立地が不適切であるとみなされた」
 ウ 「当局は水生動物への潜在的な有害性について心配していた」
 エ 「当局は高価な建設費用について心配していた」
 オ 「当局によってプラントの建設が不必要なものであるとみなされた」
- 正解はウ。第1段落第2文が根拠となる。その意味は「当局によるとプラントは高価な水を作り出し、海洋動物を害するかもしれない」である。立地、建設費用についての直接的な記載はないためイ、エは誤りであると判断できる。また、第3文に「その決定は海水淡水化を全面的に否定するものではない」とあることからオも除外できる。
- (33) 「第3段落(P2)によれば、フォート・ブラッグやカリフォルニアの他の地域で、海水淡水化が選択肢として検討されているのはなぜか」
- ア 「発電のために化石燃料の利用を促進するため」
 イ 「沖合海水の諸問題を利用するため」
 ウ 「環境に配慮した海水淡水化施設に取って代わるため」
 エ 「高い処理能力をもったさらに大型の海水淡水化プラントを生み出すため」
 オ 「過剰な地下水取水の問題に対処するため」
- 正解はオ。第3段落第1～3文が根拠となる。それらの意味は「『行き詰っていると言えます』と語るのはフォート・ブラッグの公共事業部長、ジョン・スミスである。『だから私たちは海に目を向けているのです』。海水淡水化は、地下水の過剰取水と貯水池の減少が深刻な問題となっているカリフォルニア州で、繰り返し取り上げられてきた考えである」である。第1文の発言は、第2段落第5文以降で述べられた、フォート・ブラッグでの真水不足問題を受けたものであり、それを解決するべく、海水淡水化という方策を検討していることがわかる。そして、さらに第3段落第3文では、さらなる背景として地下水過剰取水の問題が示されている。それが、カリフォルニア州各地で海水淡水化が選択肢として検討されているただ一つの理由ではないが、他の選択肢が明らかな間違いを含んでいるので、オを正解とするしかない。

- (34) 「第4段落(P4)の文脈において“ocean powered”という用語は何を意味しているか」

ア 「その装置は海水を温めるために太陽エネルギーしか使わない」
 イ 「その装置は海の波の動きによるエネルギーを利用している」
 ウ 「その装置は水中のタービンによって生み出された電気を利用している」
 エ 「その装置は海水中の塩分や小さな粒子を濾過することによって動いている」
 オ 「その装置は海にある外部の動力源に繋がっている」

正解はイ。第4段落第3文が根拠となる。その意味は「ブイが波と一緒に前後に動くと、フィルターを通して水を引き込み、逆浸透膜を通して塩分やその他の微粒子を除去する」である。ア、ウ、オはそもそも第4段落に記載がないため誤りと判断できる。エの記載は因果に気をつける必要がある。

- (35) 「逆浸透という用語が指す内容は何か」

ア 「水を浄化する方法」
 イ 「太陽エネルギーを熱に変換する方法」
 ウ 「淡水化の目的で使用されるある種のブイ」
 エ 「海水から生じる蒸気を収集することを伴う過程」
 オ 「発電のために波エネルギーを利用する機器」

正解はア。第4段落第3文が根拠となる。その1文の意味は「ブイが波と一緒に前後に動く、フィルターを通して水を引き込み、逆浸透膜を通して塩分やその他の微粒子を除去する」である。“reverse osmosis”に関わる記述を探すと、それが海水から不純物や塩分を取り除くことに関わるものであることがわかる。

- (36) 「オネカのブイベースの海水淡水化技術の特徴は何か」

ア 「簡単に分解し、動かすことができる」
 イ 「化学的な蒸留プロセスを利用している」
 ウ 「荒天に耐えることができない」
 エ 「環境への影響が大きい高濃度の塩水を生み出す」
 オ 「稼働は外部の動力源に依存している」

正解はア。第7段落最終文が根拠となり、アの文がそのまま記載されている。イの単語 **distillation** 「蒸留」がやや難しいので一旦保留にして正しい選択肢を選ぶ必要がある。ウ、エは本文内容と真逆である。

- (37) 「第8段落(P8)で言及されているように、フォート・ブラッグで試験的に装置を導入した主な目的は何か」

ア 「必要とされるだけの水を作ること」
 イ 「一般家庭43世帯分の水を作ること」
 ウ 「少数の家庭に真水を供給すること」
 エ 「海水淡水化技術の拡張性を実証すること」
 オ 「将来の改良のために、水の状態とブイの力を検証すること」

正解はオ。第8段落第2文が根拠となる。その1文の意味は「これは一般家庭約43世帯分に相当し、決して多くはないが、トゥティックによれば、この試験装置の目的は、水質とシステム性能に関するデータを収集し、同社が改良と適応を行うのに役立つことだという」である。オに関しては、“buoy power”の指す内容がやや不明瞭であるが、そのあいまいさを検討するまでもなく他の選択肢が明らかな間違いを含んでいるので、オを正解とするしかない。

- (38) 「第9段落(P9)におけるアキリの見通しによると、なぜ波エネルギーのポテンシャルを効率的に利用するためには多大な資源が必要なのか」

ア 「ブイの効率性は資源を過剰に使うことをもたらす」
 イ 「海の広大さが波エネルギーの変換効率を制限している」
 ウ 「再生可能エネルギー源は非効率的であり、それにより複数のユニットが必要とされる」
 エ 「波エネルギーのような再生可能エネルギー源は、いまだによく理解されていない」
 オ 「広範な物質への需要が無限の再生可能エネルギー源から生じる」

正解はウ。第9段落第3文が根拠となる。その1文の意味は「再生可能エネルギーは希薄なエネルギーであり、そのポテンシャルを利用するためには多くの物質と資源が必要となる」である。ウ前半の“Renewable energy sources are inefficient”が“renewables are diluted forms of energy”に、後半の“thus require multiple units”が“so you need a lot of materials and resources”に対応している。

(39) 「本文で言及されているように、従来の海水淡水化施設に関する主な課題の一つは何か」

- ア 「海からあまりに遠すぎる場所にある」
- イ 「海水の処理については信頼できない」
- ウ 「他と比べて規模が小さく、効率的ではない」
- エ 「環境にやさしく、再生可能エネルギーを使用している」
- オ 「稼働させるのにコストがかかり、しばしば炭素系エネルギー源を必要とする」

正解はオ。第1段落第2文で、海水から淡水を作るのにコストがかかることが示され、第2段落第1文と第2文で、化石燃料を用いた海水淡水化工場が海水から真水を作る唯一の方法ではないことや、Oneka Technologies が持続可能で実用的な海水淡水化施設の建設を準備していることが示唆されている。これらを根拠にすれば、従来の海水淡水化施設の抱える問題点は、コストがかかることと、化石燃料つまり炭素系燃料を使用していることであるとわかる。

講評

形式：近畿大学 2023 年度後期，2024 年度前期入試と同様。

内容：

- A~C** [文法・語法・語彙] (やや易) 昨年度後期試験と比べ(C)の英文の語数は減少している。そのため時間内に全て解き終わることは可能であろう。文章内容に関しても、昨年度同様、生物に特に偏ることなく、多岐にわたるテーマが出題されている。
- D~E** [長文] (標準) 「人工物を再利用するカラス」に関する英文。英文自体は読みやすいものの、(D)(E)ともに、設問には一部判断が難しいものが含まれる。
- F~G** [長文] (やや易) 「北里柴三郎による血清療法確立の経緯」に関する英文。(F)(G)ともに、設問自体は取り組み易いが、破傷風やジフテリアといった北里氏の功績に関わる知識については差が生まれたであろう。
- H** [長文] (標準) 「再生可能エネルギーを用いた真水不足の新たな解決策」に関する英文。文章量は大問中もっとも多いが、設問は段落順に設けられている。話題が具体的であることに加えて、設問も素直に正解を選びやすい。

形式面では昨年度後期と変わらないが、分量は若干減少した。今年度前期と比べると、全般に正解を素直に選びやすいタイプの設問が多い。目標は 70%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

医学部進学予備校 **メビオ**
☎0120-146-156 <https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校
heart of medicine **YMS**

医学部専門予備校
英進館メビオ 福岡校

☎03-3370-0410
<https://yms.ne.jp/>

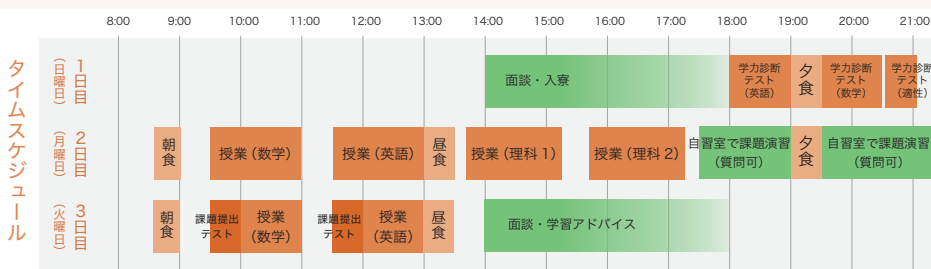
☎0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>



登録はこちらから

2泊3日無料体験

寮・授業・食堂の体験



無料体験期間

- ① 2/11 (日) ~ 2/13 (火)
- ② 2/18 (日) ~ 2/20 (火)
- ③ 2/25 (日) ~ 2/27 (火)
- ④ 3/ 3 (日) ~ 3/ 5 (火)
- ⑤ 3/10 (日) ~ 3/12 (火)
- ⑥ 3/17 (日) ~ 3/19 (火)

お申込はお電話
HP・QRコード
より承ります



詳しくは Web または お電話で

医学部進学予備校 **メビオ** フリーダイヤル ☎0120-146-156

校舎にて個別説明会も随時開催しています。
【受付時間】9:00~21:00 (土日祝可)

大阪府大阪市中央区石町 2-3-12 ベルヴォア天満橋
天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分